



会派を構成しない議員

やまもと ひとみ
山本 仁美



※所属会派の情報については一般質問時のものであり、現在は自民プラスに所属

おむつの持ち帰り・持参ゼロへ！

質問

厚生労働省は令和5年1月に、保育施設等での使用済みおむつの処分を推奨する方針を表明した。本市では、保育所等におけるおむつの保管スペースの確保や衛生管理が課題となっているが、支援策についてどのように考えているのか。

回答

県は、令和5年8月に「とちぎ少子化対策緊急プロジェクト」を策定し、現在、市町を対象とした補助制度を検討していると聞いている。本市においても、全ての施設においておむつの持ち帰りがゼロとなるように、使用済みおむつの保管用ごみ箱の設置等の環境整備を検討していく。

ひと言

子どもたちの心の安心は大人たちの笑顔です。現場や家庭が疲弊しないよう手厚いサポートが重要です。



会派を構成しない議員

おぜき えいこ
尾関 栄子



住宅リフォーム支援制度の復活を！

質問

2011年から2013年まで実施された住宅リフォーム支援制度は、交付額の30倍以上である8億4,000万円余の市内経済効果があり、市民から喜ばれるとともに業者にも大きな役割を果たした。市民の省エネ住宅などの環境整備ができる同制度を復活する考えはないのか。

回答

これまでもさまざまな検討を行い、耐震改修などの個人住宅向けの支援事業を実施している。本市の厳しい財政状況の中では、持続可能な行政運営を目指し、優先的かつ重点的に取り組むべき事業を見極めなければならないことから、現段階では実施は困難である。

ひと言

市民の住宅環境を整えることと業者を支援することは喫緊の課題と考えます。



織姫クラブ

こぬま みつよ
小沼 光代



移住・定住を促進し、税収増加及び街の活性化につなげたい！

質問

中橋ハイツの入居率は現在約50%である。入居率改善のため、家賃減額、子育て世帯専用住戸の増設、賃貸保証会社の利用、未婚カップルの入居、入居者によるリフォームの容認、土日祝祭日の入居申込受付、ホームページでの部屋の写真掲載などが考えられるがどうか。

回答

中橋ハイツは、これまで様々な方法で入居率向上に努めており、令和5年度はエレベーターのリニューアルを行うなど、安全性に配慮した取り組みも行っている。入居率向上は中心市街地の活性化に有効であることから、引き続き様々な改善策を検討していく。

ひと言

経済力のある世帯に選んでもらうために、お金をかけずにできることから始めるべきです。



会派を構成しない議員

とり いやすこ
鳥井 康子



東海第二発電所における原子力災害時の受け入れ体制を問う！

質問

本市は東海第二原発に重大な原子力災害が発生した際の避難者の受け入れについて、茨城県水戸市と平成30年に協定を締結しており、5,900人余りの避難者を受け入れる内容となっている。具体的な避難方法や避難先はどのように決められているのか。

回答

避難方法や避難先などについては、茨城県の広域避難計画で示されている基本的な考え方や水戸市から示された基本方針等を踏まえたものであり、水戸市と本市とで個別協議を重ねた後、協定の締結に至ったものである。今後も茨城県や水戸市との協議を踏まえ、適切に対応していく。

ひと言

本市から一番近くにある原子力発電所の災害時の対応について、具体的な周知が必要です。